



# KSK あまねだより



発行 神奈川県障害者定期刊行物協会  
222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
横浜市車椅子の会内  
編集 あまね共同作業所  
239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1  
TEL 046-833-4035 FAX 046-833-4062  
2019年5月23日 第423号

（頒価 20 円）

## - 研修会に参加して - 「利用者の高齢化と介護保険への移行の仕方」

今年の梅雨は長雨で、なかなかカラッとした天気にはなりません。山のようにたまった洗濯物にため息をつきつつ、電気代節約のために普段使わない乾燥機をフル回転させて対応しています。また天候不順で夏野菜が高騰しています。年齢を重ね野菜中心の食生活に移行しつつある私にとっては二重の痛手です。早く真夏の太陽が顔をださないか…とと思っている昨今です。

そんな雨の中、「かながわ福祉サービス振興会」主催の障がい者グループホーム職員研修会に参加してきました。この研修会は、神奈川県が「かながわ福祉サービス振興会」に委託して実施している事業です。そのために中核市である横須賀市は対象外ですが、空きがあれば参加可能ということです。一人職場であるグループホーム職員にとってはこのような研修機会の確保は必要不可欠だと思います。今回私は、神奈川県障害者地域作業所連絡協議会の役員ということで参加させていただきました。

テーマは「利用者の高齢化と介護保険への移行の仕方」ということで、全国手をつなぐ育成会連合会の政策センター委員の又村あおい氏が講師でした。当法人が開所しているグループホームの利用者の方も開所から14年を経て、高齢化は顕著になっています。グループホーム内で介護保険と障害福祉サービスを併用して暮らしていた利用者の方も支援が困難になり、特別養護老人ホームに入所され、今は特養ホームで穏やかに過ごされています。本紙裏面に鈴木職員が書いているように、高齢になり階段を上がることが難しくなることを想定し、高齢になっても住み続けることができるようなグループホームを建ててもらい借用できましたが、高齢化に向けてどう対処するかは大きな課題であると思います。又村氏は非常に分かりやすく説明してくれました。

### \*障害のある人が「高齢化」ということ

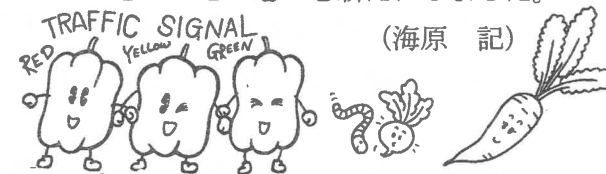
主たる障害特性によって支援ニーズの変化が異なるが、私たちが支援している知的や発達障害の方は、認知症を発症した場合の見極めが非常に難しい。既存の障害に加えて、高齢化による「新たな支援」が加わる。介護だけに着目するとベースにある障害特性が疎かになりがち、また「障害」だけに

着目してしまうと高齢化による支援ニーズを見落としてしまう。援助に関して障害のある人への高齢化に際しては、障害福祉・介護保険の相互乗り入れ（アセスメントや支援技法）が不可欠であること。

### \*総合支援法と介護保険法の相違点

一番大きく異なることは、介護保険は要介護認定がなされたら、ケアプランを作成するが、その場合は介護度によって利用できるサービス量は決められており、きめられた総量の割振りを決めることに対し、総合支援法は支給決定前にサービス等利用計画を作成し、その人に必要なサービスを一から作っていくことです。そのために、ケアマネジャーは権限をきちんと持たされているのに対し、サービス等利用計画を作成する相談員の権限はないこと。また介護保険は移動支援等、生活に関連するサービスが組み込まれておらず、地域生活支援という視点が希薄であることも大きく異なる場所だと思います。（介護保険事業計画では特別養護老人ホームの数値目標が立てられるのに対し、支援法は地域移行が求められ入所型の施設は設置しないとなっています）また、意思決定支援は支援法には規定がある反面、介護保険法には規定がない点も留意すべき事柄だと思います。

私たちは、誰もが高齢化することを念頭に置き総合支援法と介護保険法の違いをしっかりと押さえ相互の良い面を活用できるようにアンテナを張り、関係機関との連携を密にし、高齢化した仲間の生活を支えていきたいとの思いを新たにしました。



## 資源回収ご協力ありがとうございます

6月実施分は  
15,867kgでした  
(奨励金は63,400円)

次回の日程は別紙にて  
お知らせします。

問い合わせは9:00以降にお  
願いたします。

## ☆スケジュール (8月)

- 7日 グループ活動
- 9日 資源回収 池田
- 岩戸地域はお休みです
- 10日 資源回収 舟倉・若宮台
- 13日・14日 生活介護事業所夏休み
- 13日 支援センター事業所夏休み
- 16日 管理者会議
- 23日 職員会議
- 28日 クラブ活動

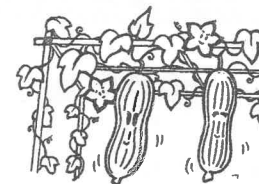
### ☆バザーの予定

10日～11日  
県立保健福祉大学  
オープンキャンパス

### 【あしがき(い)ま(ま)】

関様・新井様・山田様・柿島様・宮崎様  
高木様・加藤様・高屋様・秋元様・朝井様  
ヤマヨ久保田商會様・鶴若防災様・小島様  
秋本商會・額狩様・梶ヶ谷産業様・鈴々様  
南川様 (順不同)

資源回収の折、バザー用品や寄付などを  
頂きます。お名前を記せませんが、有効に  
活用させていただきます。





## 新しい生活の幕開け



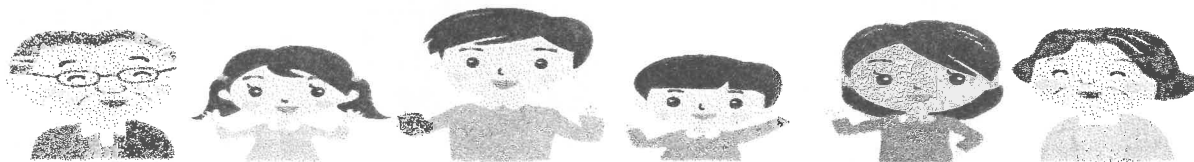
令和という新しい時代がスタートして、3か月が過ぎようとしています。我々グループホームも、令和スタートより1か月早く、新しいグループホーム「せせらぎ」が、佐原にオープンいたしました。約1年かけて検討・設計・建設と私生活でも経験したことのない大プロジェクトに参加させていただき、オープンを迎えることとなりました。古屋がまだ建っていたその場所に、新築のグループホームが建ち上がるなど、想像もできませんでした。それまで生活していた「こもれび」というグループホームは、二階建て中は平屋のように広い空間ではありませんでしたが、玄関にたどりつくまでは、まっすぐに伸びた階段を上がっていきます。お年をめたなかまにとっては、この階段が一苦労だったんです。みなさんいつまでも「こもれび」で過ごしたいという思いは強かったとは思いますが、いつこの階段の上り下りが出来なる日があるかと思うと、不安は常について回りました。そこで、年を重ねても安心して生活できる安住の地を求めて、このプロジェクトはスタートしました。そして、4月・・・引っ越しを経て、いよいよ「せせらぎ」での新しい生活が始まりました。

真新しい新築の匂い、ぴかぴかの床、素敵なカラーのカーテン、何ととっても、家の中のエレベーター、段差の少ないバリアフリーどれ一つとっても、ドキドキ・ワクワク！！快適な生活！！だったはずが・・・快適な生活に加え、ドア to ドアの歩かない生活。たちまち体重が増加してしまったのです。このままでは足腰も弱ってしまいます。さあどうしましょう。そこで、エレベーター使用禁止令の発令とともに、ストレッチ大作戦が始まりました。職員もなかまも階段の上り下りえっころえっころ・・・成果が出ることを願います。

さて、現在の「こもれび」はといいますと、ずっと女性のグループホームだったのが、男性のグループホームとしてリニューアルされました。今は3人のなかまが暮らしています。夏には2人のなかまを迎えて、さらににぎやかになりそうです。

また、女性のなかまの一人が、3月よりサテライト型といって、近所のアパートで一人暮らしを始めました。まだまだ皆さんの支援が必要ですが、彼女らしく生活できるようにこのスタイルを選択しました。地域に溶け込んで暮らしていけるように、どうぞ皆様温かく見守っていただければと思います。

人の暮らしにはいろいろあります。障害を持ってようが、そうでなかろうが、好きな人と好きな場所で、自分の望む生活が自由にできるなんて素敵ですよ。



## みちのく一人旅 第1弾



さて、ここでプライベートなお話をさせていただきます。50歳過ぎたら「大人の休日倶楽部」に加入しよう！ともう2年も過ぎようとした春に、念願の休日倶楽部に加入しました。早速年3回実施される4日間東北休日パスの情報を得たので、とにかく15000円で乗り放題！！という文字が頭から離れなくなっていました。普段は車で行動するばかりでしたが、電車の旅か・・・！？しかも一人か・・・！？行けるか？行けないか？悩んだ結果・・・行こう！行かなくちゃ！と決心し、スケジュールを調整しました。グループホームで仕事をしていますと、仕事以外で旅行には中々行けませんし、連続休暇を取得するのが難しいのですが、スタッフの協力も得て、思い切り行かせていただきました。行こう！と思ったその日からの1か月間、それはそれは楽しかったです。どのルートで、どこを観光して、どこまで行こうか？普段ずぼらな私ですが、その時ばかりは、きっちり計画を立て、その通りに実行するというその達成感を味わうためには、決して妥協しません。それだけで疲れてしまうような1か月を過ごしました。そんな旅面白くない！！なんて声が聞こえそうですが、いいんです。落ちもたくさんあった旅でしたので(笑)これこそが一人旅の醍醐味なんでしょう。ともあれ、私の人生初の一人旅は土砂降りの前泊東京駅より始まりました。

この続きは、来月第2弾に続くということで、今回は失礼します・・・

(記 鈴木)



### グループホームで働いてみませんか？

知的に障害を持っている方の、生活しているグループホームです。ご興味のある方、ぜひご連絡お待ちしております。

募集時間帯：15：00～20：00(平日1～2回)

9：00～12：00(土曜日)

勤務内容：ご飯づくりや生活に関わる支援全般

詳細はご連絡ください 担当：山田 0466(833)4035

鈴木 0466(833)3021